

令和4年度

総合型地域スポーツクラブアドバイザー 活動報告（7月～9月）

総合型地域スポーツクラブ（総合型クラブ）とは、地域の人々に年齢、興味関心、技術技能レベル等に応じた様々なスポーツ機会を提供する、『多種目』『多世代』『多志向』のスポーツクラブです。福井県内には27の総合型クラブがあります。（令和4年10月現在）

クラブアドバイザーは、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイスすることを目的に活動しています。

7月

<福井県地域スポーツミーティング>

地域のスポーツ環境基盤強化の取組として、「中学部活動の地域移行を考える」をテーマに意見交換会が行われました。市町の行政担当者やスポーツ協会、総合型クラブ、教育関係者など約60名が集まりました。

県内で取り組んでいるモデル事業の報告や市町の状況について発表がありました。また、地域によって環境や児童数、スポーツ施設の状況も違うため、地域ブロック毎にグループを組み、話し合いの場が設けられました。考え方や今後の方向性について共通理解を持つことができたことは、課題解決の上でとても有意義な時間になったと思います。

20年近く部活動の受け皿として活動している鯖江市の総合型クラブでも、未だに多くの課題が次々と出てくるとお話があったように、中学部活動を単に地域に移行するのではなく、地域のスポーツ振興、地域づくりなど広い目で各団体と連携をとり、問題を解決していかなければ成功しないと実感しました。

総合型クラブも地域スポーツを支えられるよう、基盤の強化に繋がるサポートを進めていきたいです。



中学部活動について事例発表が行われました。



地域ブロック毎に意見交換を行う様子



8月

<スポーツ体験教室>

総合型クラブの新規会員獲得や認知度向上を目標に、各クラブ新しいイベントやスポーツの体験教室を企画しています。夏休み期間中に児童館を利用する子どもたちを対象に、卓球バレー体験会が開かれたので訪問してきました。

コロナ禍でしたが、募集数を上回る申込があったようで、関心の高さが伺えました。

体験会は指導員から共生社会についてお話があった後、競技ルールの説明を受けスタートしました。子どもたちのみならず、児童館職員からの反応も良かった様子でした。クラブの名前や指導者の顔を覚えてもらい、活動の雰囲気伝えるいい機会になったと思います。また、この体験会がきっかけで、高齢者にも体験会を開いて欲しいという依頼もありました。小さなイベントでしたが、連鎖して地域内で大会を開くなどの活動にまで大きくなりそうです。

今後の展開に注目し、会員が増えるようにアドバイスをしていきたいと思っています。



卓球バレー初挑戦の子どもたち

9月

<障がい者スポーツ出前講座>

今月は「障がい者スポーツ出前講座」が実施される小学校を中心に訪問しました。パラスポーツの体験を通し「共生社会」の理解と学習を目的としているものです。パラスポーツ教室を実施している、総合型クラブに講師依頼があったため、活動の様子を視察してきました。

小学校への訪問は、学校と連携を図るきっかけ作りになりました。クラブのアピールはもちろんのこと、先生方にお話を伺うことで、子どもたちの様子や状況を捉えることができました。

地域の総合型クラブを紹介するなど、広報活動を行うことで、地域スポーツと学校の距離が縮められるといいなと思っています。



フライングディスクや卓球バレー、車いすバスケなどのパラスポーツを体験中

<登録審査委員会を終えて>

今年度から始まった登録・認証制度。各クラブのみなさん、申請書類の提出や資格獲得に向けてこれまで頑張ってくられました。お疲れ様でした。登録審査委員会が行われ、月末には登録認定リストを総合型地域スポーツクラブ全国協議会に提出されたとのことです。認証クラブの皆さんが、活躍の幅を広げることができるように、今後も行政や他団体にアピールしていきたいと思っています。